

防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会
会報 第156号(2020. 3. 1)
事務局 川西地区自主防災会

防災仲間の皆さんこんにちは、今月号は某会社に依頼しておりましたが、都合がつかず、あわてて少生が原稿を担当することになりました。

内容は1年ほど前、平素お世話になっております香川大学の長谷川先生から、岩崎さんの生きざまをしゃべって下さいと言われ、香川大学のキャンパスで紹介した内容です。

当日は大学関係者がほとんどでございましたので、今回仲間の皆さんに私の生いたちなどを紹介したいと思います。



岩崎正朔

地域防災リーダーの要件

私のこと

現在：川西地区自主防災会 会長、かがわ自主ぼう連絡協議会 会長
川西地区コミュニティ協議会 会長、丸亀市コミュニティ協議会連合会 会長
丸亀市連合自治会 会長、丸亀税務署管内納税貯蓄組合連合会 会長
丸亀市自主防災会等連絡協議会 会長、香川県共同募金会 副会長
日本赤十字社香川県支部 評議員、丸亀市社会福祉協議会 副会長
香川県連合自治会 会長、綾歌郡神社総代会 会長
香川県神社総代連合会 理事、月尾嘉男自然塾 瀬戸内海塾 代表幹事
ざぶん賞四国地区実行委員長、(社)真理亜福祉会 監事
(社)瀬戸福祉会 評議員、(法)中北自治会 会長
八幡神社責任総代、西方寺 総代会 会長、梶正治後援会 会長

- 平成13年度… 川西地区自主防災会を設立
- 平成18年度… 香川大学長谷川先生のご指導を得て「防災マップ」「防災の手引」を作成、第11回防災まちづくり大賞 理事長賞、かがわ自主ぼう連絡協議会を設立
- 平成19年度… 地方自治法施行60周年記念
総務大臣表彰
- 平成20年度… 香川県知事特別表彰
(第6回21世紀大賞)
- 平成21年度… 第14回防災まちづくり大賞
総務大臣賞



- 平成 22 年度… 防災功労者 内閣総理大臣表彰
 平成 23 年度… 第 2 回地域再生大賞 優秀賞
 平成 25 年度… 第 18 回防災まちづくり大賞
 選定委員特別賞
 平成 26 年度… 2015 日本強靱化大賞
 最優秀レジリエンス賞
 平成 27 年度… 第 20 回防災まちづくり大賞 総務大臣賞
 平成 29 年度… 防災功労者 防災担当大臣表彰
 平成 30 年度… 防災功労者 内閣総理大臣表彰



これまでの生いたち

1. 幼少から高卒まで

- (1) 5 反百姓 12 人家族で下から 2 番目 6 男として誕生
- (2) 8 才まで原因不明の熱によって、学校も休みがち
- (3) 中学生になると、急速に体幹能力が改善
- (4) 高校卒業まであらゆるアルバイトを行ない、学校費用すべてまかなう
 - ◎リーダー的活動…
 - ①10～13 才まで夜回り活動のリーダーとして取組む
 - ②中学から高校卒業するまで中方橋（320m）10 回往復
トレーニングを近所の子供集めて実施

2. 電電公社時代

- (1) 室戸時代
 - ・室戸岬のレーダー情報⇒大阪管区气象台へ（台風情報 全国へ発信）
 - ・昭和 40 年 9 月 10 日 台風 23 号による風速 70 メートルと
1 日雨量 880mm 自然の猛威を体験
 - ・寮長時代 山の分校へ 15 万円相当の図書を贈呈＜4 日間映画の上映収入＞
- (2) 丸亀局時代
 - ・業務改善四国 No1 となる（改善賞金で生活の支え）
 - ・交換手問い合わせ「調査中無音」⇒「軽い音楽と只今調査中のコメント挿入」
する機器の仕様変更で本社技術局長表彰を受賞
- (3) 四国電気通信局時代
 - ・四国の新交換システムの設計を担当。
更に自動車電話のネットワークの設計を担当＜携帯電話の先駆け＞
 - ・ふるさと香川（高松）の設計において地元要望に応え、
設計金額を大幅に変更した事により（ルールを無視した事）、
5 日間部長室において立ちっぱなしのペナルティを受ける
- (4) 本社通信網設計室（1 年間応援の立場）
 - 共通線信号方式の全国ネットワーク方式の設計グループに参加。

現在の通信網の基盤形成に携わる

3. NTT 時代

民間出身社長の経営方針に沿って、四国第1号の技術屋から法人営業部門へ

- ・外資系企業の営業部長から営業のイロハを2週間の特訓を受ける
- ・人的ネットワークを作るのに工夫を重ねた

◎キーマンを徹底調査し、いろいろな節目を活用

- ・命日、誕生日、法要日、趣味、し好品
- ・気を使ったが大きな失敗を！

会長の趣味・し好調査 ⇒ 結果、社長の内容と入れ替って迷惑をおかけした

- ・探偵のような仕事も多くあった
- ・不良債権の回収には命をかけた事も！

4. ドコモ四国時代

- ・社長、常務の特命オーダーが主な仕事
- ・日常業務は、地域の仕事（防災・自治会）がメイン、部下4名も好きな仕事を
- ・振りかえると、足元がキチッと整備されていなかったと思える
（お客様への体制）

5. その他

（1）栄進の道より仲間を優先

45才 → 本社担当課長を断念 <法人組織の基盤形成>

53才 → ドコモ四国取締役を断念 <県庁新庁舎システム>

（2）42才の厄年 ⇒ 42,195kを完走（3時間10分）

（3）カメラは小学6年から（兄の借用）、 4×5インチ、6×7使用して山岳写真

（4）健康維持のため食事の時間をゆっくりとる （30回以上の咀嚼）

一生懸命防災活動に取り組み、振り返ってみると次の

事項が**大切なポイント**であると思います

1. 心くばり（気くばり）

- （1）聞く事を優先する（言い負かさない）
- （2）徐々に自分の方向に持ってくる（時間をかける）
- （3）食事の面倒をみる
- （4）難しい事もすべて前向きに面倒をみる
- （5）相手に不愉快なことが発生したと感じたら、その当日に回復の手立てを行う

2. 実行力（実践力）

- （1）どんな状況になってもやり通す（人手不足、資金不足、連帯不足等）
- （2）出る杭は打たれる 足は引っ張られるが、絶対に負けたらダメ
- （3）目標、約束は必ず達成させる（信用確保）



3. 地域内「企業」「福祉団体」との連携

- (1) 核となる企業等には、幅広くお世話する
 - ・お客様トラブルの仲介、・地域トラブルの仲介
 - ・定期的に訪問（問題点のひろいだし）
- (2) 企業と企業のパイプ役を買ってでる
- (3) 営業支援も行う
- (4) 企業イベントに動員も行う

4. 地元の小・中学校を積極的に支援

- (1) 通学路のブロック塀の点検と危険表示
- (2) 通学路の防犯灯の設置 <前年度 40 灯>、<本年度 30 灯>
- (3) 10 年以上防災教育の実践
- (4) 生徒の相応しくない行動を学校へ情報提供

5. すべて前向きに対応する（率先垂範）

- (1) 防災・税務署・社会福祉協議会・人権問題・自治会加入
 - ・神社・寺院・市長後援会・地域コミュニティ・単位自治会運営
 - ・市の連合会、その他含め頭の中で多くのことが回っていても
タフに解決する
- (2) 皆が嫌がる作業には自らが立ち向かう
 - ・河川のドブ掃除 ・鍋洗い ・大量ゴミ放棄の収集
- (3) 常に改革、改善を考えた取り組みを継続する

6. 集金能力

- (1) 防災の整備資金
- (2) 共同募金 日本赤十字社資募集（毎年右肩上がり）
- (3) 神社、自治会館の整備資金

7. 内助の功

- (1) 女性メンバーの取りまとめ
- (2) 雰囲気づくり
- (3) 炊出し全般の段取り屋さん



— 要は前を向いて歩く（実行する） ことです —

今月の事務局だよりは、川西地区自主防災会の取組みを紹介します。

心やさしい取組みを行なっています

今、川西地区の自主ぼうの仲間が心やさしい取組みを行なっていますのでご紹介します。昨年夏、地元の土地改良区の工事によって、多くの「緑」が失われました。その後、コンクリート工事も終了した矢先、今年冬の厳しい風によって、「ニレの大木」が土器川堤防に倒れかかり、根っこ部分が大きく浮き上がり瀕死の状態でした。

何とかこの大木を生かしあげようと、まずは

①倒れたままで生命をつないでいく方法を選択(造園会社のアドバイス)

樹木全体を安定化させるために根っこから約 10m地点に「木製の台座」を入れて、振動防止を行ないました。

重量があって1トンのチェンブロック(防災用品)を活用して実施

②根っ子部分が浮き上がっているので園芸用土砂 3トンを入れて、根の再生を目指すことにしました。

防災訓練で手馴れているバケツリレーを1時間あまりかけて大きな根っ子の部分を土砂でおおい根の乾燥を防止させた。

③今夏を乗り越えると樹木が再生となると思っています。

何度か水やり作業も継続したいと思います。



編集後記

3月の防災・減災の輪は、かがわ自主ぼう連絡協議会会長岩崎正朔の原稿を掲載させていただきました。